

隔たりなき壁-徳島県美波町における防潮堤とその周辺の提案-

曾我部・吉岡研究室 坂本 理久

研究概要：

現在徳島県美波町日和佐浦地区では高潮対策のための防潮堤が建設中である。本提案では津波対策のための防潮堤を設け、防潮堤ができた後も町の景観がよくなり、地域課題が解消されていく防潮堤のデザインとその周辺について提案し、新たな交通の結節点や漁港、地域の活動場所などを設けたいくつかの建築を設計することで人の寄りどころとなる小さなまちを形成させた。

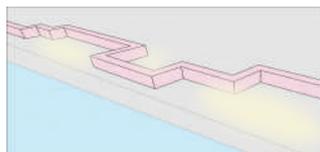
研究目的：

現代において、建築と土木が融合しているものはほとんどない。土木の代表である防潮堤は災害から人を守ることはできるが普段は景観を悪化させ、生活環境を低下させている。そこでまちが豊かになる防潮堤を提案する。

研究成果：



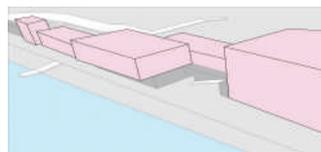
1.津波対策のための防潮堤を建設される



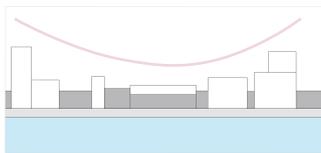
2.防潮堤を曲げることで空間を作る



3.陸間と立体動線を設置



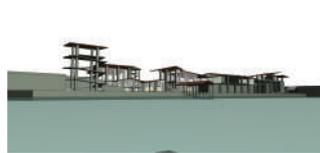
4.防潮堤に沿って建築を建てる



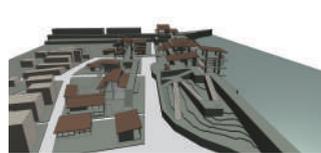
5.スカイラインを整える



6.屋根を設け景観をさらに整える



7.奥行きをつけて変化をつける



8.地域に馴染むように前に建築が建つ



苦労した点や感想など：

災害時に活躍するだけでなく、日常においても賑わいの場所となるという2面性を持っているためそこには何が必要でどんな空間があると良いかということを考え形にしていくことが非常に悩ましかった。また、敷地が非常に多きことで地域からのアクセスや自動車を使ってのアクセスなど道を新たに引くことや景観をどのようにまとめていくかはかなりの時間をさいて考えた。